

高齢者看護学実習	3年・前期	4単位	教授 石久保雅浩 他
科目カテゴリー	看護提供のあり方	科目ナンバリング	33310783

### 1. 授業のねらい・概要

高齢者はこれまでの人生の蓄積により得た成熟の面と加齢に伴う衰退の面を持っていることから、本実習では高齢者の成熟の面に視点をあて、病院で医療を受けている高齢者および介護老人保健施設等で生活している高齢者やその家族およびそれらを取り巻く環境について包括的に理解し、高齢者のQOLの維持・向上を図る援助活動を学ぶ。また、実習を通して老年看護の基本的実践能力を養う。

### 2. 学修の到達目標

1. 高齢者の特性を踏まえた、適切な態度・対応を身につけることができ、実践できる。(D-2)
2. 老年期の特徴および高齢者の特性を踏まえ、個別性のある看護過程に展開について説明できる。(D-2)
3. 高齢者の療養生活を支える家族への支援および支援システムを説明することができる。(D-2)
4. 高齢者に関わる専門職チームアプローチの必要性を理解し、看護の役割を説明できる。(D-2)
5. 自己の看護実践過程を客観的に振り返り、高齢者観、老年看護観を示すことができる。(D-2)

### 3. 授業の進め方

全体のオリエンテーションおよび各施設の具体的なオリエンテーションを実施する。受け持ち患者は、事前に各病棟の実習指導者および教員が患者選定を行い、患者の承諾が得られた後、教員と学生によって決定する。

#### 【アクティブ・ラーニング実施の有無】

アクティブ・ラーニングとして、PBL（課題解決型学習）、体験学習、調査学習、フィールドワーク、グループワーク、小テスト・レポートを用いる。

#### 【ICT活用の有無】

ICT活用の実施：メールやチャット等による学生と教職員看での学習に関するコミュニケーションの機会。

### 4. 授業計画（実習/実技）

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 実習期間：3年生 前期3週間</li> <li>2. 実習施設：角田病院，日高病院，高崎市社会福祉協議会</li> <li>3. 実習内容：病院で1週間，高齢者1名を受け持ち，個別的な看護過程を展開する。 地域社会及び福祉施設，疾病をもつ高齢者や健康な高齢者と交流することで高齢者を包括的に理解する。主体的に健康な高齢者の実態を観察し，自己の知見を客観的に振り返る。行動観察記録を作成し，自己の看護観を深める。</li> <li>4. 方法等の詳細については，高齢者看護学実習要項を参照のこと。</li> </ol>
--

### 5. 成績評価の方法・基準

評価は実習90% 筆記試験10%とする。ただし各60%以上がとれていること。

成績評価は、「2.学修の到達目標」に示した評価観点ごとに、ルーブリック評価を基に、5段階評価で採点する。尚、ルーブリック評価に関する詳細は、オリエンテーション内で説明する。

知識評価試験（筆記，実技）は，実習期間内に実施する。

知識評価試験（筆記，実技）の出題範囲および出題方法等は，事前に口頭または掲示で提示する。

## 6. テキスト・参考文献

教科書：1) 堀内ふき他（2025）ナーシンググラフィカ 老年看護学① 高齢者の健康と障害  
メディカ出版

2) 堀内ふき他（2025）ナーシンググラフィカ 老年看護学② 高齢者看護の実践  
メディカ出版

3) 山田律子他：（2025）生活機能からみた老年看護過程＋病態・生活機能関連図 医学書院

## 7. 準備学習に必要な時間，又はそれに準じる程度の具体的な内容

実習前には十分な学習を行い，臨地実習に望むこと。基礎看護技術は，安全に安楽に配慮し確実に実施できるようにすること。また，指示された事前学習についてはノートにまとめ，内容や注意点，手順などを口頭で回答できるように学習してくること。事前学習が不十分な場合は実習に参加できない場合がある。なお実習中は毎日，最低予習・復習を2時間以上行うこと。

## 8. 受講上の留意事項

必要な感染症対策が出来ていない者は履修できないことがある。

提出された事前学習課題が不足している場合には，履修できないことがある。

主体的，意欲的な実習への参加が重要である。遅刻，欠席および実習にふさわしくない行動は，参加態度として評価対象とするので注意すること。

## 9. 課題に対するフィードバックの方法

提出された課題は教員が内容をチェックする。内容の不備なものは再提出を求める。

## 10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり，修得できない場合は進級不可となる。

## 11. 実務経験のある教員等による授業科目

医療機関における看護師としての実務経験を活かして，実習の指導を行う。